

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 30 日

所属	基盤教育機構	職名	教授	氏 名	磯山友幸
研究課題	諸組織体におけるアカウンタビリティ及びガバナンスの研究				
研究キーワード	ガバナンス、アカウンタビリティ、経済と道徳、企業倫理、情報倫理、会計、監査	当年度計画に対する達成度		1.目標を超える研究の進展・成果を達成した	
関連するSDGs項目	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	
1. 研究成果の概要 自民党政策集団（派閥）の裏金問題や東京女子医大など学校法人での不正発覚など、日本の様々な組織体でのガバナンスを巡る不祥事はその後も続き、日本におけるアカウンタビリティの重要性が増している中で、新聞やテレビなど多くのメディアから求められて適宜コメントをするなど、本問題に対する啓蒙に力を注いだ。サステナビリティ研究所の定常的プロジェクトにおける活動と併せて、論文執筆なども行った。また、経済と道徳に関して、遠藤隆吉博士が提唱した本学の「実学教育」とは何かについても、学内で研究会を行うなど、成果を上げた。さらに3月には、千葉商科大学編として『会計リテラシー』を単独執筆し、同文館出版より上梓し、その中で、ガバナンスの重要性について広く啓蒙した。アマゾンランキング総合18位、会計書1位となるなどベストセラーとなり、本学2025年度カリキュラム改革で導入した全学必修科目「会計リテラシー」の教科書として利用されている。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 国際言語文化学会『日本学研究第10号』所収「福澤諭吉と加藤寛の比較研究試論」（磯山友幸、影浦亮平） 【著書・論文（査読なし）】 著書（単著）： 『会計リテラシー』（千葉商科大学編、同文館出版、2025年3月） 掲載記事： 磯山友幸、「職務の遂行ができない」現場からは悲鳴の声…それでも"イーロン・マスク率いる DOGE"が米国で支持される理由、PRESIDENT Online、2025/03/11 磯山友幸、8年ぶりに低下した「国民負担率」のカラクリ…じつは「国民負担額」は増えていた！、マネー現代、2025/03/08 磯山友幸、フジテレビ問題が問いかけるガバナンスのあり方、CFO FORUM、2025/02/17 磯山友幸、日本のインフラ老朽化が止まらない…「埼玉八潮の道路陥没は氷山の一角」対策が先送りされてしまう政治的理由、PRESIDENT Online、2025/02/05 磯山友幸、「創業家一族出身の理事長が絶対的な権力者として君臨」日本の私立大学から不祥事が消えない本当の理由、PRESIDENT Online、2025/01/29 磯山友幸、「年賀状」の“終焉”で見た日本郵便の「終わりの始まり」…大幅値上げが「年賀状じまい」を招					

く空前の大失策に、マネー現代、2025/01/15

磯山友幸、「マイナンバーカードには有効期限がある」トラブル続きのマイナ保険証を政府が国民に押し付ける
本当の狙い、PRESIDENT Online、2025/01/10

磯山友幸、だから東大生が「外資系コンサル会社」に流れていく…国家公務員の給与増では"官僚離れ"は止めら
れないワケ、PRESIDENT Online、2024/12/24

磯山友幸、「生産能力 2 割減、9000 人の人員削減」日産は復活できるのか..."ルノーとの縁切り"に注力しすぎ
た経営陣の失敗、PRESIDENT Online、2024/12/06

磯山友幸、「二大資格」で明暗くっきり…司法試験は「底這い」なのに、公認会計士試験が「人気復活」のワ
ケ、マネー現代、2024/12/03

磯山友幸、「石破首相×トランプ大統領」なら防衛費大幅増額もありうる…「またトラ」が日本経済に与える厳し
すぎる試練、PRESIDENT Online、2024/11/11

磯山友幸、国民民主党「103 万円の壁」引き上げを阻むのは誰か...税制の議論が自民税調という密室で行われ
ることの“大問題”、マネー現代、2024/11/07

磯山友幸、「ここまで上がるとは思わなかった」市場も驚き…東京メトロ上場"絶好調のスタート"に潜む「2 つの
不安」、PRESIDENT Online、2024/10/29

磯山友幸、全国「最低賃金」に異変が…！ 昨年の岩手県を追い越して「ワースト 1 位」に陥落してしまった「都
道府県の名前」、マネー現代、2024/09/04

磯山友幸、「セブン&アイ買収」は日本企業のチャンスになる...ひと昔前なら即刻拒絶された衝撃提案の"歴史
的意味"、PRESIDENT Online、2024/08/30

磯山友幸、自民総裁選「政治とカネ」に本気な候補の見分け方——たとえば「政党支部の裏金」に切り込むか、
Foresight、新潮社、2024/08/28

磯山友幸、「健康被害を受けた人たちは確実に救済されるのか」小林製薬"紅麹サプリ問題"で露呈した残念な企
業体質、PRESIDENT Online、2024/08/05

磯山友幸、認証不正問題、本当に悪いのは国交省とトヨタのどちらなのか…欧米で使われる「アンフェア」の本
当の意味、PRESIDENT Online、2024/06/21

磯山友幸、国民をバカにしている！ 自民党が政治資金規正法改正で「外部監査強化」ではなく「第三者機関」
にした許しがたい理由とは、マネー現代、2024/06/15

磯山友幸、「創業家理事長」が消滅させた大学——「夙川学院」不祥事の構造、Foresight、新潮社、2024/05/13

磯山友幸、このままでは日本の伝統的企業が海外に買われていく…円安が止まらない日本を待ち受ける"最悪
のシナリオ"、PRESIDENT Online、2024/05/09

磯山友幸、自民党裏金問題は「監査」の問題ではない？ 会計士協会がわざわざ「会長声明」を出して責任逃
れ、マネー現代、2024/04/17

他多数。

3. 主な経費

特になし

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし